

川西市景観計画(案)に係る 意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 令和5年11月2日(木)～令和5年12月1日(金)
- 2 意見提出人数 : 2人
- 3 意見提出件数 : 3件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、
A・Bのアルファベット表記に変えて「提出者欄」に記載しています。

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	21～22ページ 第4章景観形成の方針 D 市街地景観	川西能勢口駅からみつなかホールまでの景観が悪く、道もわかりにくい。文化的催しも多くあり、他府県から来られる方も多く、わかりにくいと言う声をよく聞き、立派なホールがあるのに道中が殺風景だと思う。花壇なども整備すれば川西市の印象もよくなると思う。	川西能勢口駅からみつなかホールへ向かう順路は、景観計画で「市街地景観」に位置づけており、景観形成の方針を「まちの顔にふさわしく、にぎわいや活力を感じることでできる景観を形成します」としています。道路はインターロッキング舗装や街路樹・街灯の整備をしており、駅構内には地図を、順路には案内看板を複数設置する等、景観の形成や順路表示に努めていますが、ご指摘のとおり十分ではないところもあります。今後も、市民、事業者と協働しながら、良好な景観形成に努めます。 なお、本ご意見は関係所管と共有します。	B-2
2	40～43ページ 第5章景観形成の推進方策 3 具体的な推進方策 (3) 参画と協働による景観形成	川西市内でもスケボーを持って移動している若者達を良く見かけます。個人的にはスケートパークを作りたいと願いますが、若者が好むものはスケートボードだけではなく、例えばBMX、ダンス、音楽、ファッション、自由な空気などと思うのでそういったものを好む若者たちがのびのびと遊べるスペースを用意していただきたいと思います。 今後将来を見据えたら必然的に若者が望むエリアに変えていく、変わっていく必要性があると思います。 高齢者を大事にする、意見を聞くのも当然の事だとは思いますが、やはり後先短い人と今後の川西を生き抜いていく人達を比べたらその重要性は比べるまでもないと思うのですが。 今まで高齢者などの意見を尊重してきた結果禁止ばかりの公園などが発生して結果若者を寄せ付けず、必然的に市外へ出ていくという悪循環が起きてると思います。 最近は若い親世代が都心より土地代や家賃がリーズナブルな川西エリアに引っ越してくる人達も増えていると感じますが、そこから産まれてくる子供達が川西エリアを好きになってもらえるよう、たくさん良い思い出ができるような素敵なエリアに変貌して行ってほしいと心願っています。 世界はどんどん新しく変わって行っています。 川西市も新しい場所になってほしいです。	本計画は、良好な景観の形成に関する方針や建築・開発行為の制限などを示すものです。 第5章景観形成の推進方策の(3)参画と協働による景観形成において、「イベントによる景観の魅力向上と景観とのふれあい創出に関する取組」を進めることとしており、公園や広場をはじめとする公共施設において、景観とのふれあう機会をつくり、共ににぎわいある景観を形成していくことをめざしています。 なお、個別具体的内容は各個別計画や個別施策によりますが、本ご意見は関係所管と共有します。	A-1
3	44ページ 4 景観計画の進行管理	評価指標として「景観形成の取組に関心のある市民の割合」81.3%→85%とあるが、市民の関心割合をあげても景観は変わらないと思う。	本計画では、目標の1つとして「市民・事業者・行政が協働して取り組みます」と掲げているように、市民と事業者と行政が相互に連携して取り組んでいくことが重要と考えています。その前段階として、まず景観への関心を持ってもらう必要があることから代表する指標として「関心のある市民」とし、美化・清掃や緑の創出・維持・管理などの具体的な取組につなげていきます。	B-1